



格付け手順の強化と透明性の向上に関する施策の進捗状況 (2009 年 1 月 9 日)

- 2009 年 2 月 16 日付で S&P のオンスマンにレイ・グローブスを任命。
- 「BBB 以上」の格付けの安定度合いを格付け規準に盛り込むよう改定。
- S&P のコンプライアンス状況と企業統治機能についてマグローヒル社監査委員会と定期的な会合を開催。2008 年には監査委員会と 3 回、取締役会と一度会議を開催。2009 年にもこうした会合の開催を予定。
- S&P 退社後、発行体や投資銀行の金融仲介部門に勤務することになったアナリストが手がけた案件のレビューを実施。
- アナリストの担当換え制度を導入し、同一企業を 5 年以上担当したアナリストの担当換えを開始。
- リスク監視委員会(Enterprise Risk Oversight Committee)を新設しスタンダード & プアーズの各部門の事業戦略や計画に対するリスクを評価・監視を開始。
- 格付けを付与したさまざまな種類の証券の信用リスク分析における想定やシナリオを定期的に公表。
- 格付けプロセスに利用した全てのモデルの見直しを実施中。この作業はモデル管理グループが担当し、モデル・クオリティ担当のシニア・ディレクター、マーティン・ゴールドバーグにより進められている。
- 世界中で 150 名もの投資担当役員(CIO)、機関投資家や公的年金の上席投資担当者との面談を実施。
- 「スタンダード & プアーズの信用格付けの手引き」をウェブ (www.standardandpoors.com)に掲載。また小冊子を作成。

上記に加え、チーフ・クレジット・オフィサー、格付け規準開発担当として、マーク・エーデルソン、証券化部門の部門長としてデビッド・ジェイコブス、チーフ・コンプライアンス・オフィサーとしてデビッド・リーボヴィッツといった経験豊富な市場の専門家を採用。

*本文書は 2009 年 1 月 9 日に発表した “Leadership Actions Update” を翻訳したものです。